報道資料

平成２４年７月４日
広報課、文化・世界遺産推進室、文化課
県立美術館、県立図書館、東京事務所

＜ 悠久の宝の継承　～熊本の歴史・文化の継承と活用～ ＞

「加藤・細川ヘリテージ（遺産）」関連事業がいよいよ始動します

- **百年の礎の「元年」、「加藤・細川ヘリテージ（遺産）」関連事業がいよいよスタート！**
- **熊本の歴史と文化の魅力を庁内・民間団体等と連携しながら、県内外に情報発信していきます。**

【主な取り組み内容】（詳細は別紙のとおり）

○「加藤・細川ヘリテージ（遺産）」プロジェクト

「繋ぐ（つなぐ）」、「磨く（みがく）」、「誘う（いざなう）」をテーマに、若い人たちも含め、県民自身がこれまで気づかなかった郷土の歴史の面白さに触れられるような、「町並み再生」「人材育成」などの取組みを実施し、県内外に向け「情報発信」していきます。

○加藤清正生誕４５０年記念展「加藤清正」（７月２０日～９月２日）

熊本初公開となる「賤ヶ岳合戦図屏風（しずがたけかっせんずびょうぶ）」（大阪城天守閣所蔵）や清正公が退治したと言い伝えられている「虎頭蓋骨（とらずがいこつ）」（徳川美術館所蔵）など、ゆかりの美術工芸品等を一堂に集め、清正公の波乱に満ちた生涯を紹介します。

○紀州の麒麟、肥後の鳳凰リレーフォーラム（９月、１０月頃に３回実施）

江戸中期の名君と謳われる「紀州の麒麟（徳川治貞）」、「肥後の鳳凰（細川重賢）」をテーマに、東洋学で有名な東洋文庫にて、熊本県、和歌山県、東洋文庫、永青文庫がタイアップしたリレーシンポジウムを開催します。

【お問い合わせ先】
知事公室　広報課　企画・広報班
担当：松尾、前田（内線3133）
TEL：096－333－2027（ダイヤルイン）
企画振興部　文化企画課　文化・世界遺産推進室
担当：西塔（さいとう）、府高（ふだか）（内線3591）
TEL：096－333－2153（ダイヤルイン）

加藤・細川ヘリテージ（遺産）関連事業

加藤清正公生誕450年の今年は百年の礎「元年」
熊本の歴史と文化の魅力を全国に発信します！

生誕450年記念展 加藤清正

熊本初公開となる「賤ヶ岳合戦図屏風」（大阪城天守閣所蔵）や清正が退治したと言い伝えられている虎の骨「虎頭蓋骨」（徳川美術館所蔵）など、ゆかりの美術工芸品等を一堂に集め、その生涯を紹介します。

勇猛果敢
主一無道
清正公の生涯が
ここに甦る

加藤清正像

「加藤・細川ヘリテージ（遺産）」プロジェクト

「加藤・細川ヘリテージ（遺産）」をキーワードに、県内一円の隠れた史跡や文化にスポットを当て、歴史と文化の再発見とPRに向けた取組みを行います。

- **繋ぐ（つなぐ）** 後世に残すべき歴史的町並みの選定・保全を行う「町並み再生」
- **磨く（みがく）** テレビ等の媒体とタイアップし、歴史の面白さを知って貰えるような講座等による「人材育成」
- **誘う（いざなう）** 雑誌等を活用した「情報発信」

紀州の麒麟、肥後の鳳凰リレーフォーラム

江戸中期に、藩政改革に取組み、名君と謳われた「紀州の麒麟（徳川治貞公）」、「肥後の鳳凰（細川重賢公）」の二人の改革者を通じ、当時の時代背景や改革への理解を深め、現代が抱える問題への処方箋に迫ります。
東洋学で有名な東洋文庫にて、和歌山県、東洋文庫、永青文庫とタイアップした、リレーフォーラムを開催します。

水前寺成趣園

熊本で開催

7月
- ◇ 細川コレクション 細川家と狩野派の美（7.18-9.23）［県立美術館］
- ◇ 生誕450年記念展 加藤清正（7.20-9.2）［県立美術館］
- ◆ 加藤清正生誕450年記念リレーシンポジウム（7.29）［県交流館パレア］

8月
- ◇ 鞠智城シンポジウム（8.26）［熊本テルサ］

9月
- ◇ マイスタープロジェクト
- ◇ 細川コレクション 秋の名品コレクション展（9.11-10.28）［県立美術館］

10月
- ◇ 細川コレクション 細川家の婚礼（10.5-12.16）［県立美術館］

11月
- ◇ 細川コレクション 冬の名品コレクション展（11.3-12.24）［県立美術館］
- ◇ 熊本城下の青春［熊本近代文学館］
- ◆ 加藤清正生誕450年記念リレーシンポジウム（11.25）［県庁］

12月

1月
- ◇ 細川コレクション 春の名品コレクション展（1.2-3.24）［県立美術館］
- ◇ 細川コレクション 藩校時習館物語（1.9-3.24）［県立美術館］

2月
- ◇ くまもと歴町５０選決定

3月

県外で開催

- ◇ 八雲・漱石にみる日本の精神（7.21-9.17）［熊本近代文学館収蔵品展］［永青文庫］
- ◆ 細川護熙 美の世界展（7.21-9.17）［永青文庫］
- ◇ 半藤一利氏、半藤末利子氏の夫婦対談「わが家の漱石」（8.4）［梅山荘］
- ◆ 小泉八雲「怪談」創作舞台「青柳」東京公演（8.5）［四谷区民ホール］
- ◇ 紀州の麒麟、肥後の鳳凰リレーフォーラム［東洋文庫］
- ◇ 鞠智城シンポジウム（9.22）［九州国立博物館］
- ◆ 細川家に残る江戸の天文学（9.25-12.24）［永青文庫］
- ◇ 紀州の麒麟、肥後の鳳凰リレーフォーラム［東洋文庫］
- ◇ 紀州の麒麟、肥後の鳳凰リレーフォーラム［東洋文庫］
- ◇ くまもとの歴史と文化の歴史総合誌 刊行
- ◆ 武蔵と武士のダンディズム（1.5-3.24）［永青文庫］

◇：県が主体となって実施　◆民間等が主体となって実施

「加藤・細川ヘリテージ（遺産）」プロジェクト

～熊本の歴史・文化の継承と活用～

「加藤・細川ヘリテージ（遺産）」をキーワードに、県内一円の隠れた史跡や文化にスポットを当て、歴史と文化の再発見とPRに向けた取組みを行います。

繋ぐ つなぐ ～歴史・文化の保全・再生～

【「くまもと歴町５０選」選定事業】

- 歴史的価値の高い建造物やその周辺景観からなる歴史的町並みの維持向上を図り、後世に引き継ぐための取組みを展開。
- 今年度は、県内の優れた歴史的町並みを選定します。
- ２年目以降は、市町村や地域と一体となった修景等の町並み保全の取り組みを行います。

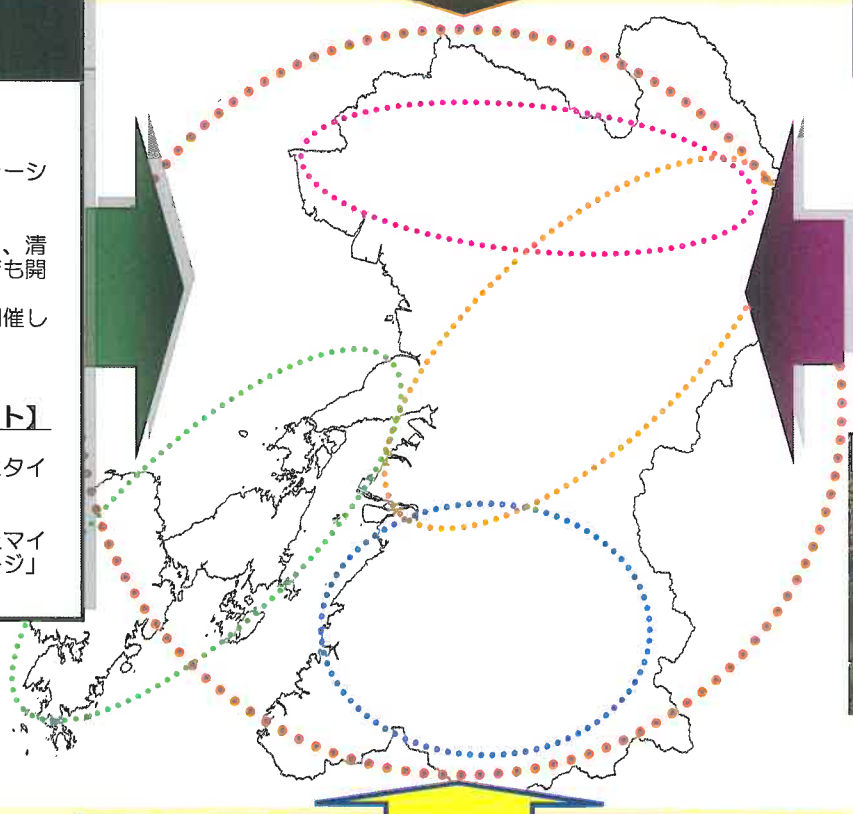
磨く みがく ～歴史・文化の伝承～

【加藤清正生誕４５０年記念事業】

- 県、熊本市、熊本日日新聞社の三者共催によるリレーシンポジウムを開催。
- 今年は、加藤清正生誕４５０年の記念の年にあたり、清正公にスポットを当てた展覧会などが県立美術館等でも開催されます。
  その一つとして、今回、当リレーシンポジウムを開催します。

【「加藤・細川ﾍﾘﾃｰｼﾞ」マイスタープロジェクト】

- 歴史の面白さを知って貰う講座を開催。メディアとタイアップして広く紹介します。
- 更に、「加藤・細川の歴史と文化」をテーマにしたマイスター検定を実施し、合格者は「加藤・細川ヘリテージ」マイスターとして認証します。



誘う いざなう ～歴史文化の活用・情報発信

【「加藤・細川ﾍﾘﾃｰｼﾞ」パブリシティ事業】

- 加藤・細川所縁の事跡を中心に、熊本の歴史・文化の情報発信を行います。
- 具体的には、雑誌等への企画記事掲載等、若者及び首都圏をターゲットとしたパブリシティ活動を展開します。
- 併せて、関連プロジェクトとして、首都圏にて東洋文庫との共催によるリレーフォーラムも開催します。

関係課と連携し、既存事業等を活用しながら県内全域を支援

生誕450年記念展

加藤清正

平成24年

7月20日(金)⇒9月2日(日)

開館時間：9時30分～17時15分（入館は16時45分まで）
会　　場：熊本県立美術館本館2階展示室
休 館 日：毎週月曜日
臨時開館：8月13日(月)は臨時開館
8月27日(月)は「障がいのある方々の鑑賞デー」として開館
ただし、開館時間は10時～16時30分（入館は16時まで）

作品保護のために、会期中に作品の展示替えを行います。ご了承ください。

観覧料：一般800円(600円)／大学生500円(400円)／高校生以下は入場無料
（　）は前売・団体20名以上の料金。障がい者手帳をお持ちの方は無料です。
本館1階展示室・永青文庫展示室との共通観覧券　一般1,100円(900円)
（　）は団体20名以上の料金

●前売り券は、熊本交通センター、鶴屋東館、びぶれす熊日プレイガイド、チケットぴあ[Pコード765-032／サンクスほか]、セブン-イレブン[セブンコード014-713]、ローンチケット[Lコード85267／ローソンほか]、イープラス[http://eplus.jp／ファミリーマートほか]、県庁売店、熊本市役所売店、長崎書店、サンリブシティくまなん、平櫻工芸サロン和の園、熊本市内各大学売店・各プレイガイド、熊日販売センター、熊本県立劇場、熊本県立美術館本館・分館などで販売。

主　催：熊本県立美術館／熊本日日新聞社／RKK熊本放送
後　援：熊本県文化協会／熊本県博物館連絡協議会
熊本県市町村教育委員会連絡協議会／熊本県図画工作・美術教育研究会
熊本県高等学校文化連盟／熊本県高等学校教育研究会美術、工芸部会
NHK熊本放送局／エフエム熊本／FM791
「熊本城400年と熊本ルネッサンス」県民運動本部
協　賛：お菓子の香梅
熊日創立70周年

KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
熊本県立美術館[本館]
〒860-0008 熊本市中央区二の丸2番　TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512
http://www.museum.pref.kumamoto.jp

優待割引券
一般 800円 ↓ 700円
本券をチケット売り場にご提示ください。この券1枚につき5名様まで割引します。

生誕450年記念展

加藤清正

1562年に尾張（現愛知県）で生まれ、戦国の乱世を駆け抜けた加藤清正。豊臣秀吉子飼いの武将として、政権を支える役割を担いました。また、1588年に肥後熊本の領主となった清正は、熊本の歴史や文化にも大きな足跡を残しています。絶大な人気を誇り、いまも「清正公大神儀」として信仰されるゆえんです。

清正の生誕450年目を記念する本展では、菩提寺・本妙寺に伝来した品々や愛用の《片鎌槍》（東京国立博物館所蔵）といったお馴染みの作品、熊本初公開となる《賤ヶ岳合戦図屏風》（大阪城天守閣所蔵）や《虎頭蓋骨》（徳川美術館所蔵）など、ゆかりの美術工芸品や歴史資料を一堂に集め、その生涯を紹介します。

加えて本展では、神として人々に親しまれてきた「清正公大神儀」にもスポットをあてます。熊本を起点に全国的な広がりをみせた清正公信仰の実像を示す絵画や歴史資料も、みどころのひとつです。

七本槍！最初の晴れ舞台を描く《賤ヶ岳合戦図屏風》 17世紀、大阪城天守閣所蔵

清正の活躍を描いた錦絵
《日本外史之内　伏見地震》
19世紀、加藤神社所蔵

清正が退治した虎の骨
《虎頭蓋骨》
16世紀、徳川美術館所蔵

加藤清正のすがた《加藤清正像》
17世紀、本妙寺所蔵（8月19日まで展示）

名工・平田郷陽が手がけた五月人形《清正金太郎》
20世紀、個人所蔵

清正が娘婿・徳川頼宣へ贈った鮮やかな袈裟
《赤地唐草紋金糸入縫取織七条袈裟》
16～17世紀、報恩寺所蔵

［表面］清正愛用の槍
《片鎌槍》
16世紀、東京国立博物館所蔵

清正愛用のかぶと
《蛇の目紋長烏帽子形兜》
16世紀、本妙寺所蔵

交通案内

バ　ス／
交通センターから歩いて15分、または交通センターで熊本城周遊バス（通称：しろめぐりん）に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分

市　電／
「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分

J　R／
熊本駅から熊本城周遊バス（通称：しろめぐりん）に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
上熊本駅からタクシーで10分

駐車場／
二の丸有料駐車場、三の丸有料駐車場をご利用ください

関連イベント（場所はいずれも本館講堂、参加費無料）

特別講演会

①演題：「加藤清正の生涯」　日時：7月21日(土)13時30分～15時
講師：稲葉 継陽氏（熊本大学文学部附属永青文庫研究センター教授）

②演題：「「清正公」信仰の成立と展開」　日時：8月11日(土)13時30分～15時
講師：福西 大輔氏（熊本博物館学芸員）

③演題：「加藤清正と文禄・慶長の役」　日時：8月25日(土)13時30分～15時
講師：中野　等氏（九州大学大学院比較社会文化研究院教授）

花押づくりワークショップ

テーマ：「戦国武将のような花押をつくろう!」　日時：8月12日(日)13時30分～15時
講師：大浪 和弥氏（延岡市教育委員会学芸員）　定員：先着30名

子ども美術館

テーマ：「特大おりがみで清正のかぶとづくり」　日時：8月19日(日)10時30分～12時
講師：当館学芸課職員

平成24年7月4日
熊本県東京事務所

平成24年度東洋文庫・和歌山県・熊本県の連携事業

１．目的

東洋学を研究する東洋文庫を中心に、和歌山県、熊本県の歴史上の同時期に名君と謳われた人物を対比させながら、その時代背景や取組への理解を深める。また、両県の歴史を取り上げることで、対象者を広げ、より多くの方々に両県への興味を喚起し、交流の活性化を目指す。

２．事業概要

①事業：江戸中期に藩政改革に取り組み、名君と謳われた「紀州の麒麟（徳川治貞）、肥後の鳳凰（細川重賢）」をテーマにしたリレーフォーラム（セミナー）を実施。

②実施時期：平成24年９～10月

③実施方法：３回のリレーフォーラム、各回13時～15時

④各テーマ：
第１回　「『麒麟と鳳凰』にかかるイントロ及び対談」
第２回　「肥後の鳳凰：細川重賢」
第３回　「紀州の麒麟：徳川治貞」

⑤主催者
主催：東洋文庫、協力（予定）：和歌山県・熊本県・永青文庫・和歌山市立博物館

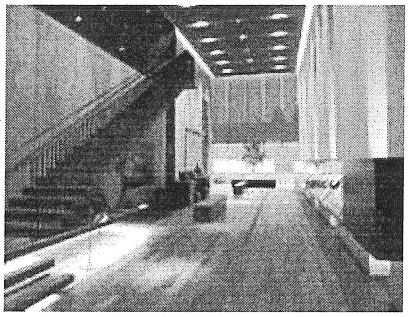
⑥場所：東洋文庫２階会議室

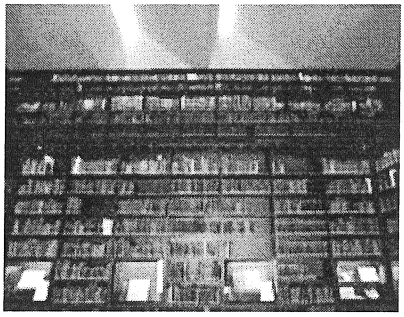
⑦受講料：調整中

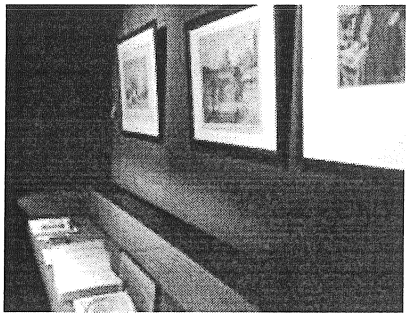
（参考）

【東洋文庫概要】（所在地：東京都文京区本駒込２－２８－２１）
- 1924 年、岩崎久彌氏（三菱第三代当主）が、東洋学の研究図書館として東洋文庫を開設。
- 1951 年、細川護立氏が第 7 代理事長に就任。
- モリソン文庫、岩崎文庫を始め、アジアの書物を中心に約 100 万冊を所蔵。
- 建物老朽化による建て替えに伴い、ミュージアムを開館（2011 年 10 月 20 日）。
- 特定公益増進法人に認定された財団であり、その必要資金は自己資産、寄附金及び補助金で運営されている。

【東洋文庫ミュージアム内部】


オリエントホール


モリソン書庫


ディスカバリールーム

○細川重賢（しげかた）[1721～1785]

肥後熊本藩第六代藩主。倹約を奨励し、また、藩校時習館の開設や殖産事業に尽力して藩政の改革に努めた。

○徳川治貞（はるさだ）[1728～1789]

松平頼邑（よりさと）の養子となり、宝暦３年伊予西条藩主松平（紀伊）家第五代、安永４年和歌山藩主徳川家第九代となる。人材の登用、倹約の奨励、訴訟箱の設置などにより藩政の改革にあたった。